

当院のシンボルマークは、患者さまに対する「まごころ」を漢字の「心」で表現しています。

# まごころ

MAGOKORO



地方独立行政法人

## 下関市立市民病院

SHIMONOSEKI CITY HOSPITAL

2019年 秋号 vol.27



▲ 皮膚科ではパッチテストでアレルギーなどの接触皮膚炎の原因を診断します。

### 特集 「皮膚科」のご紹介

がん診療コーナー 大腸がん

お知らせ 「市民病院フェスタ2019」開催 ほか

もっと知りたい 医療情報班

地域の絆 浜田内科クリニック

よねだ耳鼻咽喉科クリニック

2019.11.15 下関市立市民病院広報年報委員会発行

下関市立市民病院

#### 基本理念

安心の優しい医療を提供し、  
市民から信頼される病院を目指します

#### 基本方針

- 市民のニーズに応じた最善の医療を提供します。
- 重点診療項目として、悪性疾患、救急及び生活習慣病に取り組みます。
- 安定した健全な病院経営を目指します。



特集

皮膚科のご紹介

# 接触皮膚炎について



皮膚科部長

内田 寛  
うちだ ひろし

## 接触皮膚炎とは

皮膚に接触した物質による皮膚炎で、  
いわゆるへかぶれVです。

洗剤などの皮膚刺激物による一次刺激性皮膚炎と金属、植物、白髪染めなどによるアレルギー性接触皮膚炎があり、診断には貼布試験（パッチテスト）が必要です。

パッチテストは、検査物質を患者さまの背部に貼布し、48及び72時間後に貼布部位の紅斑、小水疱、浮腫により判定します。

それでは接触皮膚炎の各症例を見てみましょう。

### 1 金属アレルギー

図1は、金属によるピアス皮膚炎です。耳たぶに浮腫性紅斑、小水疱認めます。原因のほとんどはニッケル又はコバルトです。図2は、ジールの金属ボタンによる接触皮膚炎です。へそ上部に中央苔癬化を伴う紅斑と周囲に色素沈着を認めます。





図1



図2

## 2 植物による 接触皮膚炎

図3は、患者さまの手指に紅斑、鱗屑を認めます。図4は、患者さま宅にあった西洋サクラソウです。しばしばアレルギー性接触皮膚炎を生じることが知られています。

図5は、サクラソウのパッチテストです。花、葉、茎に陽性所見があります。



図3



上:図4 下:図5

## 3 白髪染めによる 接触皮膚炎

図6は、白髪染めによる接触皮膚炎です。頭皮部だけでなく周囲にも浸出液を伴う激しい皮膚炎です。原因は、白髪染めに含まれるパラフェニレンジアミンです。



図6

## 4 革製品による 接触皮膚炎

図7は、革の時計バンドによる接触皮膚炎です。バンドに一致して紅斑を認めます。

図8は、革靴による接触皮膚炎です。足の指を中心に紅斑、びらんがあります。

図9は、そのパッチテストです。靴の革に陽性です。合成皮革に変更後、症状はでません。



図7



上:図8 下:図9

## 5 マンゴー皮膚炎

図10は、マンゴーによる皮膚炎です。かおりつく様に食べるため、口囲に紅斑、びらん、痂皮を認めます。マンゴーは、ウルシ、銀杏に交差反応があります。よってウルシかぶれの人は、マンゴーでかぶれる恐れがあります。



図10

## 6 パッチテスト パネル<sup>®</sup>について

コバルト、ニッケル、パラフェニレンジアミン含めた24種類のアレルギー性接触皮膚炎を生じる物質を一度に検査できます。

## 大腸がんの診療について

外科医になって約20年になります。20年もあると医療はどんどん進歩して、昔の常識は現在の非常識に変わったりします。今回は、「大腸がん」の診療について、その変遷を個人的な実感をもとに述べてみます。

大腸がんを手術する機会は明らかに増えました。20年前は胃と大腸の手術の割合はほぼ1:1でした。それが現在は1:3~1:4くらいになっている気がします。

## 大腸がんの治療法の進歩

大腸がんの治療法に関しては、大きく3つの進歩があると思います。1つ目は、内視鏡治療です。大腸内視鏡はもともと検査のひとつです。20年前

は内科の先生はどちらかと言うと「検査屋」で、実際にがんを治療するのは外科の仕事でした。今では早期の大腸がんは内科の先生がどんどん切除されています。高い技術を要する治療法で、外科医としては頭が下がります。

2つ目は、腹腔鏡手術です。小さな傷で、お腹の中に直接手は入れず、カメラで見ながら、細長い手術道具を使って行う手術で、痛みが少なく術後の回復が早いといったメリットが知られています。20年前、がんの手術はほぼ開腹手術、つまり大きくお腹を切り開いて、臓器を手で触りながら行っていました。大きな病院では最先端手術として腹腔鏡下手術が導入され始めた時期で、先輩の先生達が四苦八苦しながら長時間頑張って手術され

ていた姿を思い出します。10年ほど前には一般病院でも普通に行われるようになり、今ではむしろ開腹手術の方が行う機会が少なくなってきました。

最後に、抗がん剤です。20年前、大腸がんに効く抗がん剤はほとんどありませんでした。しかしこの20年で、抗がん剤は急速に進歩し、がんの進行を遅くしたり、場合によってはほとんど見えなくなるまで小さくしたりと、明らかに効果がある薬が出てきました。

有効性だけでなく、副作用を抑えるノウハウもどんどん蓄積されてきて、長生きできる人が増えてきました。

これからの20年ではどんな進歩があるのでしょうか。

＜外科医師＞<sup>たむら</sup>田村 <sup>てつろう</sup>徹郎

### 【連載エッセイ】

## 放射線部

### CT検査について

放射線部では、昨年の3月に64列CTを1台導入し、現在64列CT 2台で検査を行っております。

CT検査では、1mm以下の細かいデータを元に、あらゆる角度からの断面の画像(MPR画像)、さらに、ワークステーションと呼ばれる高性能なコンピュータを用いて、3D画像の作成を行います。

MPR画像や3D画像は主に、病変の位置、大きさ、形状を知ること役に立てられます。3D画像は、日頃画像に見慣れていない患者さまにとっては、病変をよりイメージしやすいかと思えます。そのため、医師からの病状説明の際にも利用されます。

昨年のCT導入に伴い、ワークステーションも、「SYNAPS E VINCENT」を新たに導入いたしました。

これにより、従来のMPR画像

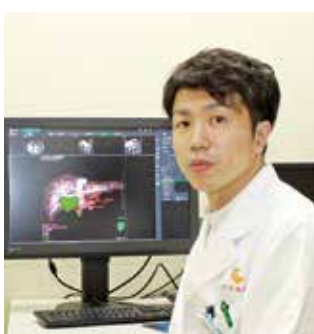
や3D画像の作成に加え、術前のシミュレーションを行うことが可能となりました。

術前シミュレーションを行うことで、腫瘍の大きさや形状、正常組織に対しての割合、血管との位置関係の把握や、血管支配領域を知ることが出来ます。

これらの情報を元に手術を行うことで、手術時間の短縮や精度の向上につながり、患者さまの負担軽減へとつながります。

私たち診療放射線技師は、常に医師と連携を取り合い、その都度必要とする画像を作成しております。

今後も、診断、治療に必要な、よりよい画像の提供が行えるよう努めてまいります。



たかせ かずまさ  
診療放射線技師 高瀬 一匡

よりよい画像を提供します。



# 市民病院フェスタ 2019

## 市民病院からの お知らせ hospital news



令和元年9月28日(土)、5回目となる市民病院フェスタ2019を開催しました。

午前の「市民の保健室」では、血圧などの各種測定、寝姿勢圧測定、看護師による健康相談、薬剤師によるお薬相談、医療ソーシャルワーカーによる介護・福祉相談、リハビリテーション部による令和最初の健康教室、放射線クイズ・パネル展示、niko C a f é、バザー、ヨーヨーつり、院内ミニコンサートが行われました。

また、「看護の魅力発見コーナー」では、ナースの仕事体験、白衣を着て記念撮影、看護職を目指した進路相談などが行われました。

午後は当院外科 田村徹郎医師による「大腸がんの治療法」、当院脳神経外科 高原健太医師による「新しい脳梗塞治療」の2つのテーマで市民公開講座を行いました。

当日は朝早くからたくさんの方にお越しいただき、誠にありがとうございました。

## 「第2回患者安全推進地域フォーラム in 下関」が開催されました

令和元年10月19日(土)、当院が幹事病院となり2019年度「第2回患者安全推進地域フォーラム in 下関」が開催されました。認定病院患者安全推進協議会が主催し、27回目となる今回、山口県内では初めて当院で開催され、全国から約180名の方にご参加いただきました。

「医療安全における倫理とは？」をテーマに、宮崎大学医学部の板井孝彦教授の基調講演と、九州大学病院の鮎澤純子病院長補佐を座長にシンポジウムが行われました。臨床倫理の難しい問題に取り組む糸口を得られたと大好評を博しました。



## 寄付型自動販売機を設置しました 「まちあい文庫」が寄贈されました

下関西ロータリークラブより入院中の小児患者さまや、緩和ケア病棟の入院患者さまの癒しとなるように絵本などの「まちあい文庫」が贈られました。

令和元年10月3日(木)に行われた贈呈式では、長岡榮会長から田中雅夫院長に目録が手渡されました。



令和元年10月24日(木)に、当院本館3階から6階の各階及び食堂前に自動販売機が設置されました。売り上げの一部は、パンキャンジャパンに寄付されます。パンキャンジャパンは脾臓がん撲滅のための活動をしているNPO法人です。

眞島喜幸理事長から田中雅夫院長に感謝状が贈られました。



当院で働く職員を紹介します。

# もっと知りたい。

医療情報班



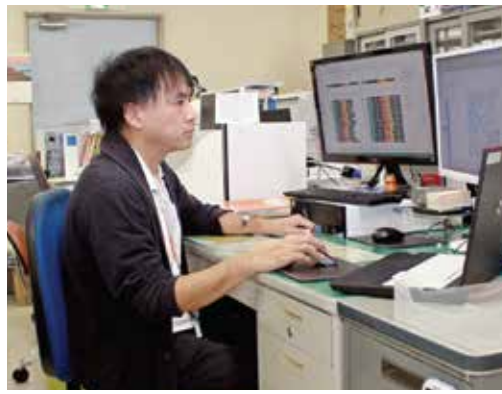
医療情報技師  
みなもと じゅんいち  
源 順一

「医療情報技師」の主な仕事内容を教えてください。

当院では電子カルテを中心に色々な情報システムが稼動しています。所属する医療情報班では基本的にそれらの管理・運営を行っています。私が、私は主に院内のコンピュータに日々蓄積されている診療情報を二次利用して、各職員からの依頼で開発したプログラムの提供による業務支援および、データの各種分析業務を行っています。

直接患者さまと接する機会はほとんどありませんので、ご存じないとは思いますが、院内には医師や看護

師以外にもそのような職員がいることも知っていただけたら幸いです。



▲職員から依頼された案件は基本的に断らず、業務支援に役立つよう開発を行っています。

「医療情報技師」を目指したきっかけは何ですか？

教育学部の出身ですが教員ではなく、以前はシステム会社でプログラマーをしていました。(市内では某漁協のシステム開発などを手掛けていました。)

中央病院時代の電子カルテ導入に携わる機会があり、その経験から『病院の情報システムに特化したエンジニアになりたい。』と思ったことがきっかけです。

仕事をしていく上で大切にしていることは何ですか？

一度引き受けた業務は、責任を

持って最後まで対応するように心掛けています。

職員への業務支援を通じて、患者さまへ少しでもよりよい医療サービスを提供できる環境作りに貢献できればと思っています。

休日の過ごし方や、最近ハマっていることを教えてください。

最近では経営分析業務に従事する他病院の職員方と共同で研修会を開催しており、県外に出張することが多いのですが、そうでない休日は小2の娘と3歳の息子と一緒に遊んでおり、小月に住んでいるので乃木浜総合公園によく行っています。

どこのお父さんもそうだと思いますが、子供からもらった活力を日々の業務に活かしています。



▲業務でストレスを抱えることもあります。それを癒してくれるかわいい子供達です。

## 認定看護師 だより Vol.25



緩和ケア認定看護師

和田 けいこ  
和 恵子

当院の緩和ケア病棟はがん患者さまを対象に、様々な症状、苦痛の緩和に努め、患者さま・ご家族の意思を尊重し、その人らしく穏やかに過ごせるよう、緩和医療を提供しています。

一般的に緩和ケア病棟は「終の住み処(ついのすみか)」という概念がありますが、当院は症状コントロールを行い、体調を整え、少しでも長く家で過ごすことができるよう、在宅療法への円滑な移行を行うために、医師・看護師・医療ソーシャルワーカー・リハビリテーションスタッフ・管理栄養士など多職種で支援を行っています。





# 地域の絆

当院と連携している医療機関等を紹介します。  
登録医の先生と当院とは、患者さまの病状に合わせた治療が行えるよう、密接な関係をつくっています。

下関市立市民病院 地域連携室

電話：083-224-3860 FAX：083-224-3861

## 浜田内科クリニック

院長 はまだ たかおみ 濱田 隆臣 先生



父の跡を継いで約20年、下関市立市民病院の先生方および関係者の方々には、日頃より大変お世話になり感謝しております。また私事ですが多数の身内が患者、また医師として公私ともにお世話になっています。

当院の紹介ですが、大学での専門は肝臓、消化器ですが開業以来内科全般を扱っております。下関市役所の横にあるので、用事や買い物のついでに診察を受けることができます。場所がわかりにくく、最初不安があると思いますが、階段を登って、ようやくたどり着いた時は「よく来たね」と歓迎を受けます。また小さい待合室なので待ち時間は少ないようです。さらに唐戸地区は病院が多く、他科紹介には困りません。病院の方向を指さすだけで歩いて行けます。病院紹介は得意技の一つで、市民病院が、地域住民の医療の中核とすれば、我々開業医はその間の橋渡しの役割だと思っていますので患者さんにとって、どれがベストな方向なのかを常に考えることを心がけています。今後も微力ながら地域医療の役に立てるよう精進していきたいと思っておりますので何卒よろしくお願いたします。

最後に院長紹介ですが、趣味は、自転車とスキー。好きな理由は「脳みそを使わない」から。大学院から息子が帰郷予定で、現在自分の職場からいかに消えて行くかを算段中。昔「若先生」、いつの間にか「老先生」になっています。

〒750-0008 下関市田中町7-12 TEL：083-223-0516 <内科、消化器科>  
月・火・水・金：9:00～12:00、14:00～18:00 木・土：9:00～12:00 (午後休診)

## よねだ耳鼻咽喉科クリニック

理事長 よねだ たかし 米田 敬 先生

当医院は、受付2名、看護師1名、准看護師2名にて、「どんな時でも笑顔で思いやり」をモットーに患者さまに寄り添いながら、日々の診療にあたっています。耳鼻咽喉科一般診療の中でも特に花粉症の時期には、アレルギー検査の必要性も高まりますし、また、補聴器外来（認定補聴器技能者と共に補聴器適合を行う）、眩暈外来（眼球運動検査装置 y VOG-Glass導入を準備中）などの充実も図っています。診療機器の保有状況では、その他、オージオメータ、インピーダンスオージオメータ、語音聴力検査用音源、フィレンツェ眼鏡、ファイバースコープ、エックス線撮影装置などで、日々の診療に活用しています。

耳疾患では、外耳道炎、中耳炎（急性、慢性、滲出性等.）など、鼻疾患ではアレルギー性鼻炎、副鼻腔炎（急性、慢性）など、咽喉頭疾患では咽喉頭炎、扁桃炎など、やはり、耳鼻咽喉科は感染症主体の診療内容になるようで、腫瘍病変を有している方の精査加療には総合病院の先生にお願いをさせていただくという事になるようです。

さて、趣味の話になりますが、下関市医師会の音楽部では毎年無料で10月最後の土曜日（令和元年は日曜日）に演奏会を開催しておりますが、（今年度はこの稿が掲載されるときには残念ながら終了しておるようです）以前市民病院におられた水町宗治先生、市民病院耳鼻科の平 俊明先生も演奏されておられますので、機会があれば是非演奏会にお越しいただければと思います。最後になりますが、下関市立市民病院の先生方、また、地域連携室の皆様、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



〒752-0975 下関市長府中浜町2-10 TEL：083-245-2930 <耳鼻咽喉科>  
月・火・水・金：9:00～12:00、14:00～18:00 木・土：9:00～12:00 (午後休診)

# 外来診療のご案内

2019年11月1日現在 (※)…非常勤医師

診療科		曜日	月	火	水	木	金
内科・消化器内科			具嶋 正樹/加来 寿光	澤野 美由紀	具嶋 正樹	澤野 美由紀	加来 寿光
内科・呼吸器内科			畑 亮輔(※)			川波 敏則(※)(第3午前予約のみ)	原 幸歌(※)
内科・循環器内科			金子 武生/與田 俊介	金子 武生	安田 潮人	辛島 詠士	辛島 詠士/有馬 岳史
禁煙外来(午後・予約制)					金子 武生		
内科・腎臓内科				坂井 尚二 中村 亜輝子	田中 洋登 荒瀬 北斗(※)	坂井 尚二 午後:吉村 潤子(※)	前田 大登(※)
内科・血液内科				久保 安孝		久保 安孝	
内科 リウマチ膠原病内科			大田 俊一郎 柏戸 佑介(※)		大田 俊一郎 真弓 武仁(※)(午後)	福元 遼(※)	大田 俊一郎
糖尿病内分泌代謝内科(午前中)				相良 理香子(※)(糖尿病内科のみ)		伊藤 淳(※)(糖尿病内科のみ)	
内科・胆膵外来			五十嵐 久人(※)(午後)		五十嵐 久人(※)		
神経内科(午前中・予約制)					本田 真也(※)		
精神科					中津 勇紀(※)		
心臓血管外科				上野 安孝/今坂 堅一		上野 安孝/栗栖 和宏	
外科	午前		牧野 一郎/宮竹 英志 持留 直希	石光 寿幸 中原 千尋	大谷 和広 宮竹 英志	田村 徹郎	石光 寿幸 大谷 和広
	午後		院長外来(院外紹介) 宮竹 英志/持留 直希	乳腺外来 石光 寿幸 中原 千尋	大谷 和広	ストーマ外来(第2・第4) 田村 徹郎	乳腺外来 石光 寿幸 ストーマ外来(新患)第2・第4 大谷 和広
呼吸器・感染症外来(呼吸器外科)			吉田 順一(要相談)	吉田 順一(要相談)	吉田 順一(要相談)	吉田 順一(要相談)	吉田 順一
呼吸器腫瘍センター(呼吸器外科)				井上 政昭		井上 政昭/近石 泰弘	井上 政昭(予約のみ)/本多 陽平
小児外科					中村 睦/九大派遣医師	田口 匠平(※)(第1・第3午後)	
脳神経外科			中村 隆治/尾中 貞夫	中村 隆治/高原 健太	中村 隆治/尾中 貞夫		中村 隆治/尾中 貞夫 高原 健太(午後)
整形外科	再診		白澤 建藏/大角 崇史/ 上妻 隆太郎	太田 浩二/但馬 祐季	山下 彰久	原田 岳/橋川 和弘	渡邊 哲也/國分 康彦
	新患		太田 浩二	渡邊 哲也 國分 康彦	白澤 建藏 原田 岳 大角 崇史	山下 彰久 但馬 祐季	橋川 和弘 喜多 正孝(※)(午前)
泌尿科	一診(初診)		吉弘 悟	徳永 貴範	吉弘 悟	徳永 貴範	吉弘 悟
	二診(予約のみ)		徳永 貴範	吉弘 悟	徳永 貴範	吉弘 悟	徳永 貴範
眼科			石村 良嗣(午前中)	石村 良嗣(午前中)	石村 良嗣(午前中)	石村 良嗣(午前中) ロービジョン外来(第4午後)	石村 良嗣(午前中)
放射線診断科				箕田 俊文			
放射線治療科			有賀 美佐子	有賀 美佐子	有賀 美佐子	有賀 美佐子(午前のみ)	有賀 美佐子
小児科	午前	小児科	河野 祥二	河原 典子	河原 典子	坂田 恭史(※)	河野 祥二
	予約制	アレルギー 心身症			河野 祥二		永田 良隆(※)(再診)
	午後	健診・予防接種 アレルギー		河野 祥二		河原 典子	
	予約制	慢性疾患 心身症 神経			河野 祥二/河原 典子		永田 良隆(※)(再診) 河野 祥二/河原 典子
産婦人科	午前	一診	前田 博敬(第1・第3・第5) 川崎 恵欣(※)(第2・第4)	前田 博敬	前田 博敬	前田 博敬	
		二診					
疼痛外来 バイクリニック内科			藤原 義樹		藤原 義樹		藤原 義樹
皮膚科			内田 寛 午後の外来は13~14時受付	内田 寛	内田 寛 午後の外来は13~14時受付	内田 寛 午後:手術	内田 寛 午後の外来は13~14時受付
耳鼻咽喉科			平 俊明 伊藤 彩(※)	平 俊明 増田 智也	平 俊明 伊藤 彩(※)	平 俊明 増田 智也	平 俊明 増田 智也
歯科・歯科口腔外科			上原 雅隆 細井 俊輔	上原 雅隆/細井 俊輔 長畑 佐和子	上原 雅隆/細井 俊輔 入学 陽一(※)(予約のみ)	上原 雅隆/細井 俊輔 長畑 佐和子	上原 雅隆 細井 俊輔
緩和ケア外来							牧野 一郎/午前中(予約制)
救急科(午前・午後)			中原 千尋	尾中 貞夫	中原 千尋/木幡 亮	中原 千尋/尾中 貞夫	中原 千尋/木幡 亮

◆糖尿病教室 (要予約: 内科外来にお問い合わせください)

◆ペースメーカー外来 (内科外来: 要予約) 毎月第2月曜日13:00~15:00 (第2月曜日が休日の場合は第3月曜日)

◆ロービジョン外来 (眼科外来: 要予約) 視覚に障害があるため生活に何らかの支障を来している方への支援

ホームページ  
リニューアル  
しました!



地方独立行政法人

下関市立市民病院

SHIMONOSEKI CITY HOSPITAL

〒750-8520 下関市向洋町一丁目13番1号

TEL:(083)231-4111(代表) FAX:(083)224-3838

ホームページアドレス <https://shimonosekicity-hosp.jp/>

地域連携室(紹介予約) 専用TEL:(083)224-3860 専用FAX:(083)224-3861

禁煙外来を行っています。当院は敷地内禁煙です。ご協力をお願いします。